

Linux インストールの修正情報

インストールガイド(Linux 編) 正誤表(2018/09/11 版)

日本電気株式会社

2018 年 9 月

重要

セットアップの開始方法が、EXPRESSBUILDER を使用しないワンタイムブートによるインストール方法へ変更になります。更新内容については No.10、No.11、No.12 をご参照ください。本更新にともない No.1 から No.6 までの正誤情報は、無効な情報となります。

※2018 年 4 月 26 日の情報公開以前に、「EXPRESSBUILDER」-「手動」によるセットアップの開始を実施されていた場合、No.1 から No.6 までの正誤情報は、有効な情報です。

2018 年 9 月の更新情報について

OS インストールの前に、各装置のファームウェア更新情報の確認が必要になります。各装置と OS バージョンに対応したファームウェア更新方法/Starter Pack 更新情報へのリンク情報 No.13、No.14、No.15、No.16、No.18、No.19 及び、OS インストール後の Starter Pack 適用コマンド No.17 をご参照ください。

【目次】

R120h-1M,R120h-2M,R120h-1E,R120h-2E,T120h Red Hat Enterprise Linux 7.3.....	2
EXPRESSBUILDER Version E8.10-003.01 (ファームウェア 3.10.222)以降 更新情報	4
Starter Pack 適用コマンド更新	6
システムユーティリティ設定 説明更新	8
付 録 説明修正	9
EXPRESSBUILDER を使用しないワンタイムブート採用へ変更	10
ファームウェア更新を含む Starter Pack 適用手順 更新	14

R120h-1M,R120h-2M,R120h-1E,R120h-2E,T120h Red Hat Enterprise Linux 7.3

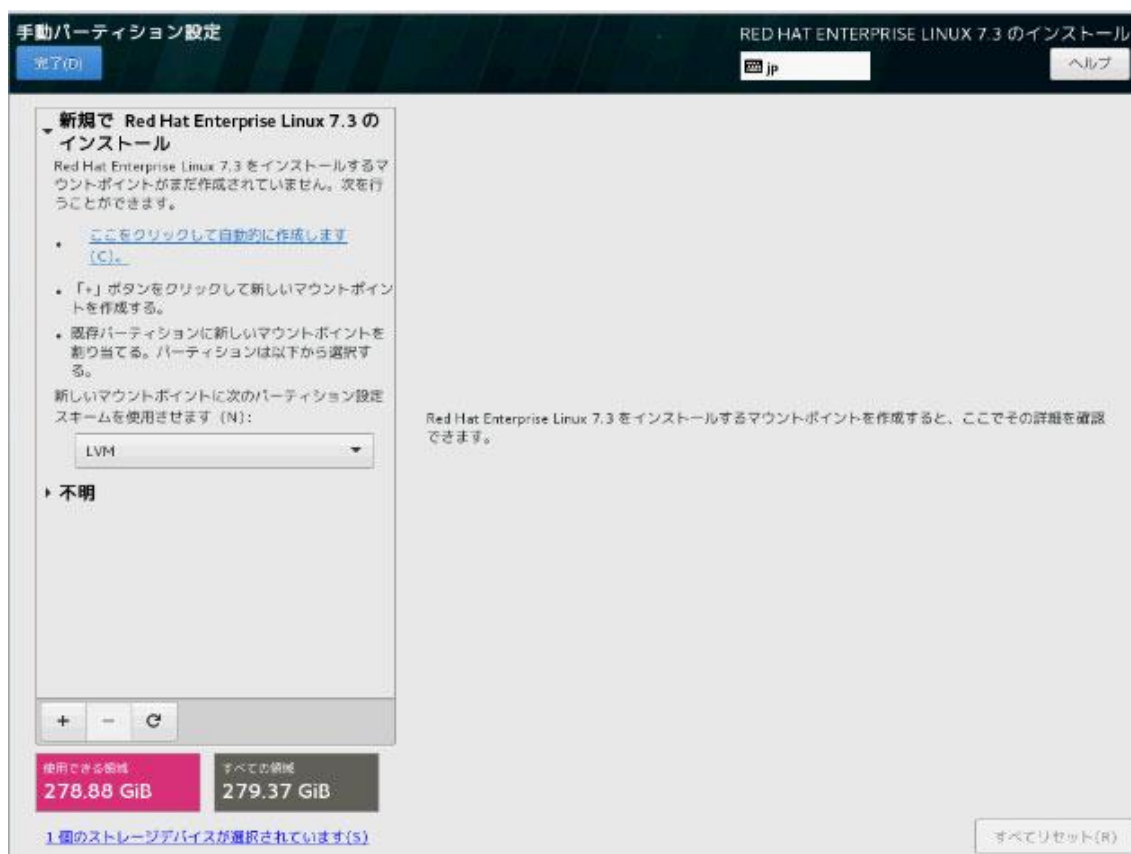
対象モデル	R120h-1M,R120h-2M,R120h-1E,R120h-2E, T120h
対象 OS	Red Hat Enterprise Linux 7.3
対象文書名	インストレーションガイド(Linux 編)

本正誤情報は、「EXPRESSBUILDER」・「手動」によるインストールを実施された場合のみ有効です

No.	ページ	区分	変更箇所
1	P.36	修正	(2) セットアップの実行

【訂正前】

8. 「手動パーティション設定」の画面が表示されます。[新しいマウントポイントに次のパーティション設定スキームを使用させます (N)] から[標準パーティション]を選択したあとで、パーティションを作成します。パーティションの作成を完了したら[完了 (D)] をクリックします。



【訂正後】

8. 「手動パーティション設定」の画面が表示されます。

赤枠の「不明」を選択後 [-] をクリックし、このパーティションを削除します。

[新しいマウントポイントに次のパーティション設定スキームを使用させます (N)] から [標準パーティション] を選択したあとで、パーティションを作成します。パーティションの作成を完了したら [完了 (D)] をクリックします。



新規デバイスの追加に失敗する場合は、右下の [すべてリセット(R)] をクリックした後、再度、パーティションを作成します。

手動パーティション設定 RED HAT ENTERPRISE LINUX 7.3 のインストール

完了(D) jp ヘルプ

新規で Red Hat Enterprise Linux 7.3 のインストール

Red Hat Enterprise Linux 7.3 をインストールするマウントポイントがまだ作成されていません。次を行うことができます。

- ここをクリックして自動的に作成します (C)。
- 「+」ボタンをクリックして新しいマウントポイントを作成する。
- 既存パーティションに新しいマウントポイントを割り当てる。パーティションは以下から選択する。

新しいマウントポイントに次のパーティション設定スキームを使用させます (N):

LVM

不明

+ - ↺

使用できる領域 **278.88 GiB** すべてを領域 **279.37 GiB**

1 個のストレージデバイスが選択されています(S) すべてリセット(R)

Red Hat Enterprise Linux 7.3 をインストールするマウントポイントを作成すると、ここでその詳細を確認できます。

EXPRESSBUILDER Version E8.10-003.01 (ファームウェア 3.10.222)以降 更新情報

対象モデル	R120h-1M,R120h-2M,R120h-1E,R120h-2E, T120h
対象 OS	Red Hat Enterprise Linux 7.3
対象文書名	インストールガイド(Linux 編)
対象 EXPRESSBUILDER	version E8.10-003.01 (ファームウェア 3.10.222) 以降



本正誤情報は、「EXPRESSBUILDER」-「手動」によるインストールを実施された場合のみ有効です

No.	ページ	区分	変更箇所
2	P.13	修正	1.2 インストール可能な Linux OS
【訂正前】 <ul style="list-style-type: none"> 本製品用の「EXPRESSBUILDER」では、以下の Linux OS をサポートしています。 EB1 Assisted Install 非対応 EB2 手動 OS 標準のインストーラーでのセットアップ 			
【訂正後】 <ul style="list-style-type: none"> 本製品用の「EXPRESSBUILDER」では、以下の Linux OS をサポートしています。 EB1 自動インストール 非対応 EB2 手動 OS 標準のインストーラーでのセットアップ 			

対象 EXPRESSBUILDER	version E8.10-003.01 (ファームウェア 3.10.222)以降
-------------------	---

本正誤情報は、「EXPRESSBUILDER」-「手動」によるインストールを実施された場合のみ有効です

No.	ページ	区分	変更箇所
3	P.33	修正	(1) セットアップの開始 - 2.
【訂正前】 本機を起動時、光ドライブに、Red Hat Enterprise Linux 7.3のインストールDVDをセットします。 POST 画面の下に次のメッセージが表示されたら[F10]キーを押してEXPRESSBUILDER を起動し、 [構成とインストール]をクリックします。			
【訂正後】 本機を起動時、光ドライブに、Red Hat Enterprise Linux 7.3のインストールDVDをセットします。 POST 画面の下に次のメッセージが表示されたら[F10]キーを押して EXPRESSBUILDER を起動し、 [EXPRESS OS INSTALL] をクリックします。			

対象 EXPRESSBUILDER		version E8.10-003.01 (ファームウェア 3.10.222)以降	
本正誤情報は、「EXPRESSBUILDER」-「手動」によるインストールを実施された場合のみ有効です			
No.	ページ	区分	変更箇所
4	P.33	修正	(1) セットアップの開始 - 3.
【訂正前】			
<div><div><div>チェック</div></div><div>インストール方法：の Assisted Install は、サポート対象外です。 手動を選択してください。</div></div>			
【訂正後】			
<div><div><div>チェック</div></div><div>インストール方法：の 自動インストール は、サポート対象外です。 手動を選択してください。</div></div>			

対象 EXPRESSBUILDER		version E8.10-003.01 (ファームウェア 3.10.222)以降	
本正誤情報は、「EXPRESSBUILDER」-「手動」によるインストールを実施された場合のみ有効です			
No.	ページ	区分	変更箇所
5	P.33	修正	(1) セットアップの開始 - 4.
<p>【訂正前】</p> <p>OSファミリの選択欄にRed Hat Enterprise Linux 7.3 Server が表示されている事を確認し、右下の [>] をクリックします。</p>			
<p>【訂正後】</p> <p>DVDメディアの情報として、Red Hat Enterprise Linux 7.3 Server が表示されている事を確認し、右下の [>] をクリックします。</p>			

対象 EXPRESSBUILDER		version E8.10-003.01 (ファームウェア 3.10.222)以降	
本正誤情報は、「EXPRESSBUILDER」-「手動」によるインストールを実施された場合のみ有効です			
No.	ページ	区分	変更箇所
6	P.33	修正	(1) セットアップの開始 - 5.
【訂正前】			
「インストール設定の確認」画面が表示されます。OSファミリ [Linux] 、オペレーティングシステム [Red Hat Enterprise Linux 7.3 Server]、インストール方法：[manual] になっている事を確認し、右下の [>] をクリックします。			
【訂正後】			
「インストール設定の確認」画面が表示されます。OS ファミリ [Linux]、インストール方法：[手動] になっている事を確認し、右下の [>] をクリックします。			

Starter Pack 適用コマンド更新

対象モデル	R120h-1M,R120h-2M,R120h-1E,R120h-2E, T120h
対象 OS	Red Hat Enterprise Linux 7.3 Red Hat Enterprise Linux 6.9
対象文書名	インストレーションガイド(Linux 編)

No.	ページ	区分	変更箇所
7	ー	修正	Starter Pack の適用

【訂正前】

● Starter Pack の適用

：

：

：

1. 光ディスクドライブにStarter Pack をセットします。
2. rootユーザーでログインします。
コンソール端末で操作をしてください。
3. マウントポイントを作成します。※「iLOドライバの確認」で、作成済みの場合は、作成不要です。

```
# mkdir /media/cdrom
```

4. Starter Packをマウントします。

```
# mount -r -t iso9660 /dev/sr0 /media/cdrom
```

5. Smartupdateのあるディレクトリへ移動します。

```
# cd /media/cdrom/packages/
```

6. 以下のコマンドを実行します。

```
# ./smartupdate abort
# ./smartupdate add --baselines ./
# ./smartupdate add --nodes localhost
# ./smartupdate inventory --nodes localhost --baselines ./
# ./smartupdate deploy
# ./smartupdate abort
# ./smartupdate shutdownengine
```

7. OSを再起動します。

```
# reboot
```

[Red Hat Enterprise Linux 7.3 の記載は以下になっています。]

7. OSを再起動します。

```
# systemctl reboot
```

【訂正後】

[以下の手順は、Red Hat Enterprise Linux 7.3 / Red Hat Enterprise Linux 6.9 共通です。]

● Starter Pack の適用

:
:
:

1. 光ディスクドライブにStarter Pack をセットします。

2. rootユーザーでログインします。
コンソール端末で操作をしてください。

3. マウントポイントを作成します。※「iLOドライバの確認」で、作成済みの場合は、作成不要です。

```
# mkdir /media/cdrom
```

4. Starter Packをマウントします。

```
# mount -r -t iso9660 /dev/sr0 /media/cdrom
```

5. Smartupdateのあるディレクトリへ移動します。

```
# cd /media/cdrom/packages/
```

6. 以下のコマンドを実行します。

```
# ./smartupdate abort  
# ./smartupdate add --baselines ./  
# ./smartupdate add --nodes localhost  
# ./smartupdate setattributes --nodes localhost rewrite=false  
downgrade=false firmware=false software=true  
# ./smartupdate inventory --nodes localhost --baselines ./  
# ./smartupdate deploy  
# ./smartupdate abort  
# ./smartupdate shutdownengine
```

7. OSを再起動します。

```
# reboot
```

8. Starter Packをマウントします。

```
# mount -r -t iso9660 /dev/sr0 /media/cdrom
```

9. Smartupdateのあるディレクトリへ移動します。

```
# cd /media/cdrom/packages/
```

10. 以下のコマンドを実行します。

```
# ./smartupdate abort  
# ./smartupdate add --baselines ./  
# ./smartupdate add --nodes localhost  
# ./smartupdate setattributes --nodes localhost rewrite=false  
downgrade=false firmware=true software=false  
# ./smartupdate inventory --nodes localhost --baselines ./  
# ./smartupdate deploy  
# ./smartupdate abort  
# ./smartupdate shutdownengine
```

11. OSを再起動します。

```
# reboot
```

システムユーティリティ設定 説明更新

対象モデル	R120h-1M,R120h-2M,R120h-1E,R120h-2E, T120h
対象 OS	Red Hat Enterprise Linux 7.3
対象文書名	インストレーションガイド(Linux 編)

No.	ページ	区分	変更箇所
8	P.26	修正	2.1.2 セットアップ前の確認事項

【訂正前】

(2) 本機のハードウェア構成の確認

システムユーティリティの設定

- 次のシステムユーティリティ設定の確認・変更を行ってください。設定方法の詳細については、「メンテナンスガイド」の「2 章(1.システムユーティリティ)」を参照してください。

メニュー	項目	パラメーター
[System Configuration > BIOS/...(RBSU) > Date and Time]	Date (mm/dd/yyyy) Time (hh:mm:ss) Time Format Time Zone	現在の日時(日本時間)を協定世界時(UTC)に変換し設定します。 Coordinated Universal Time(UTC) UTC+09:00...
[System Configuration > BIOS/...(RBSU) > Processor Options]	Processor x2APIC Support	Enabled に設定します。
[System Configuration > BIOS/...(RBSU) > Server Security > Secure Boot Settings]	Attempt Secure Boot	Disabled に設定します。
[System Configuration > BIOS/...(RBSU) > Boot Options]	Boot Mode	UEFI Modeに設定します。

【訂正後】

(2) 本機のハードウェア構成の確認

システムユーティリティの設定

- 次のシステムユーティリティ設定の確認・変更を行ってください。設定方法の詳細については、「メンテナンスガイド」の「2 章(1.システムユーティリティ)」を参照してください。

メニュー	項目	パラメーター
[System Configuration > BIOS/...(RBSU) > Date and Time]	Date (mm/dd/yyyy) Time (hh:mm:ss) Time Format Time Zone	現在の日時(日本時間)を設定します。 Coordinated Universal Time(UTC) UTC+09:00...
[System Configuration > BIOS/...(RBSU) > Processor Options]	Processor x2APIC Support	Enabled に設定します。
[System Configuration > BIOS/...(RBSU) > Server Security > Secure Boot Settings]	Attempt Secure Boot	Disabled に設定します。
[System Configuration > BIOS/...(RBSU) > Boot Options]	Boot Mode	UEFI Modeに設定します。

付 録 説明修正

対象モデル	R120h-1M,R120h-2M,R120h-1E,R120h-2E, T120h
対象 OS	Red Hat Enterprise Linux 7.3 Red Hat Enterprise Linux 6.9
対象文書名	インストールガイド(Linux 編)

No.	ページ	区分	変更箇所
9	-	修正	.2.3 付 録
<p>【訂正前】</p> <p>Red Hat Enterprise Linux 6.9 (R120h-1M,R120h-2M)の記載</p> <hr/> <h2>.2.3 付 録</h2> <hr/> <p>この章では、ディスクラベルの変更手順や、各セットアップ方法のインストール仕様について記載しています。</p> <p>Red Hat Enterprise Linux 7.3 (R120h-1M,R120h-2M,R120h-1E,R120h-2E, T120h)の記載</p> <hr/> <h2>.2.3 付 録</h2> <hr/> <p>この章では、ディスクラベルの変更手順や初期設定スクリプトの処理内容、各セットアップ方法のインストール仕様について記載しています。</p>			
<p>【訂正後】</p> <p>Red Hat Enterprise Linux 7.3 (R120h-1M,R120h-2M,R120h-1E,R120h-2E, T120h)</p> <p>Red Hat Enterprise Linux 6.9 (R120h-1M,R120h-2M)</p> <p>共通</p> <hr/> <h2>.2.3 付 録</h2> <hr/> <p>この章では、ディスクラベルの変更手順について記載しています。</p>			

EXPRESSBUILDER を使用しないワンタイムブート採用へ変更

対象モデル	R120h-1M,R120h-2M,R120h-1E,R120h-2E, T120h
対象 OS	Red Hat Enterprise Linux 7.3
対象文書名	インストールガイド(Linux 編)

No.	ページ	区分	変更箇所
10	13	修正	1.2 インストール可能な Linux OS

【訂正前】

1.2 インストール可能な Linux OS

本製品用の「EXPRESSBUILDER」では、以下の Linux OS をサポートしています。

EB1	Assisted Install	非対応
EB2	手動	OS 標準のインストーラーでのセットアップ

Linux OS	ブートモード		インストール方法	
	UEFI	Legacy	EB1	EB2
Red Hat Enterprise Linux 7(x86_64) ※1	✓	—	—	✓

✓ … 対応 — … 非対応

※1 インストールには、Red Hat Enterprise Linux 7.3(x86_64)のインストールメディアを使用します。

【訂正後】

1.2 インストール可能な Linux OS

本製品では、以下の Linux OS をサポートしています。

BTO … プリインストールモデル
 EB … EXPRESSBUILDER でのセットアップ
 OS … OS 標準のインストーラーでのセットアップ

Linux OS	ブートモード		インストール方法		
	UEFI	Legacy	BTO	EB	OS
Red Hat Enterprise Linux7(x86)	—	—	—	—	—
Red Hat Enterprise Linux 7(x86_64) ※1	✓	—	—	—	✓

✓ … 対応 — … 非対応

※1 インストールには、Red Hat Enterprise Linux 7.3(x86_64)のインストールメディアを使用します。

対象モデル	R120h-1M,R120h-2M,R120h-1E,R120h-2E, T120h
対象 OS	Red Hat Enterprise Linux 7.3
対象文書名	インストレーションガイド(Linux 編)

No.	ページ	区分	変更箇所
11	14	修正	1.3 Linux のセットアップ方法の概要

【訂正前】

1.3 Linux のセットアップ方法の概要

Linux システムの利用を開始するには、次の方法があります。

1. Linux をインストール(または再インストール)し利用する。

Linux サービスセットでは、Linux のインストールを含むセットアップ方法として、次の方法を提供しています。

● OS 標準のインストーラーでのセットアップ

メンテナンスガイド、2 章(3. EXPRESSBUILDER の詳細)、「2 章(1. システムユーティリティ)」を参照し、RAID システムの構築、ハードディスクドライブの構成を行ったあと、EXPRESSBUILDER の[手動]を選択、インストールメディアから起動して OS のインストールを行うセットアップ方法です。OS のインストールパラメーターは Red Hat 社が提供するインストールプログラムに対話的に答えて入力します。OS のインストール後に初期設定スクリプトの適用やバンドルソフトウェアのインストールを手動で行います。

【訂正後】

1.3 Linux のセットアップ方法の概要

Linux システムの利用を開始するには、次の方法があります。

1. Linux をインストール(または再インストール)し利用する。

Linux サービスセットでは、Linux のインストールを含むセットアップ方法として、次の方法を提供しています。

● OS 標準のインストーラーでのセットアップ

メンテナンスガイド、2 章(3. EXPRESSBUILDER の詳細)、「2 章(1. システムユーティリティ)」を参照し、RAID システムの構築、ハードディスクドライブの構成を行ったあと、[F11] Boot Menu の「ワнтаイムブートメニュー」を選択し、インストールメディアから起動して OS のインストールを行うセットアップ方法です。OS のインストールパラメーターは Red Hat 社が提供するインストールプログラムに対話的に答えて入力します。OS のインストール後に初期設定スクリプトの適用やバンドルソフトウェアのインストールを手動で行います。

対象モデル	R120h-1M,R120h-2M,R120h-1E,R120h-2E, T120h
対象 OS	Red Hat Enterprise Linux 7.3
対象文書名	インストールガイド(Linux 編)

No.	ページ	区分	変更箇所
12	33	修正	2.1.5 セットアップの手順

【訂正前】

2.1.5 セットアップの手順

(1) セットアップの開始

1. ディスプレイ、本機の順に電源をONにします。
2. 本機を起動時、光ドライブに、Red Hat Enterprise Linux 7.3のインストールDVDをセットします。POST 画面の下に次のメッセージが表示されたら[F10]キーを押して EXPRESSBUILDER を起動し、[構成とインストール]をクリックします。

F9 System Utilities **F10** EXPRESSBUILDER **F11** Boot Menu **F12** Network Boot

3. 「オペレーティングシステムのインストール」の画面が表示されます。ソースのインストール [DVD-ROM メディア]、インストール方法 [手動] を選択し、右下の[>]をクリックします。



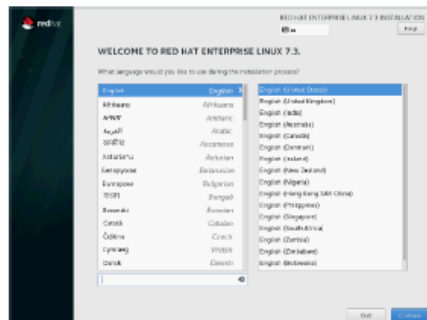
インストール方法：の Assisted Install は、サポート対象外です。
手動を選択してください。

4. OSファミリの選択欄にRed Hat Enterprise Linux 7.3 Server が表示されている事を確認し、右下の [>] をクリックします。
5. 「インストール設定の確認」画面が表示されます。OSファミリ [Linux]、オペレーティングシステム [Red Hat Enterprise Linux 7.3 Server]、インストール方法：[manual] になっている事を確認し、右下の [>] をクリックします。
6. 「ジョブ構成ビューアー」画面が表示されます。[すぐに起動] を選択します。
7. 再起動後、インストールが開始されます。
再起動までに時間のかかる場合があります。

詳細は、「メンテナンスガイド」の 2章(3. EXPRESSBUILDERの詳細)情報を参照してください。

(2) セットアップの実行

1. 言語とキーボードの選択画面が表示されます。[日本語 Japanese]を選択し、[続行(C)]をクリックします。



ファームウェア更新を含む Starter Pack 適用手順 更新

対象モデル	R120h-1M,R120h-2M,R120h-1E,R120h-2E, T120h
対象 OS	Red Hat Enterprise Linux 6.9
対象文書名	インストールガイド(Linux 編)

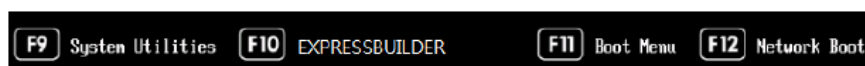
No.	ページ	区分	変更箇所
13	33	修正	2.1.5 セットアップの手順

【訂正前】

2.1.5 セットアップの手順

(1) セットアップの開始

- ディスプレイ、本機の順に電源をONにします。
- 本機を起動時、光ドライブに、Red Hat Enterprise Linux 6.9のインストールDVDをセットします。POST 画面の下に次のメッセージが表示されたら[F11]キーを押してワнтаイムブートメニューを起動します。



- 「ワнтаイムブートメニュー」画面が表示されます。



- 「ワнтаイムブートメニュー」画面が表示されたら、Red Hat Enterprise Linux 6.9 Serverメディアが入っているデバイスを選択します。
- 再起動後、インストールが開始されます。再起動までに時間のかかる場合があります。

(2) セットアップの実行

- boot画面が表示されます。



【訂正後】

2.1.5 セットアップの手順

(1) セットアップの開始

セットアップの前にファームウェアの更新が必要な場合、更新を行いません。

各装置におけるOSバージョンに対応したStarter Pack情報およびファームウェアの更新情報は、各製品の製品マニュアル(ユーザーズガイド)を参照します。

<http://jpn.nec.com/>

「サポート・ダウンロード」－「カタログ・マニュアル」－

「PC サーバ (Express5800 シリーズ)」－「100シリーズ」項目から対象のモデルを選択。

ファームウェアの更新後、以下の手順にてセットアップを開始します。

1. ディスプレイ、本機の順に電源をONにします。
2. 本機を起動時、光ドライブに、Red Hat Enterprise Linux 6.9のインストールDVDをセットします。POST 画面の下に次のメッセージが表示されたら[F11]キーを押してワнтаイムブートメニューを起動します。



3. 「ワнтаイムブートメニュー」画面が表示されます。



4. 「ワナタイムブートメニュー」画面が表示されたら、Red Hat Enterprise Linux 6.9 Serverメディアが入っているデバイスを選択します。
5. 再起動後、インストールが開始されます。再起動までに時間のかかる場合があります。

(2) セットアップの実行

1. boot画面が表示されます。



対象モデル	R120h-1M,R120h-2M,R120h-1E,R120h-2E, T120h
対象 OS	Red Hat Enterprise Linux 7.3
対象文書名	インストールガイド(Linux 編)

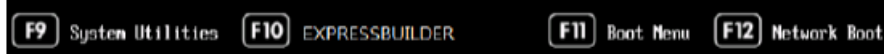
No.	ページ	区分	変更箇所
14	33	修正	2.1.5 セットアップの手順

【訂正前】

2.1.5 セットアップの手順

(1) セットアップの開始

- ディスプレイ、本機の順に電源をONにします。
- 本機を起動時、光ドライブに、Red Hat Enterprise Linux 7.3のインストールDVDをセットします。POST 画面の下に次のメッセージが表示されたら[F11]キーを押してワнтаイムブートメニューを起動します。



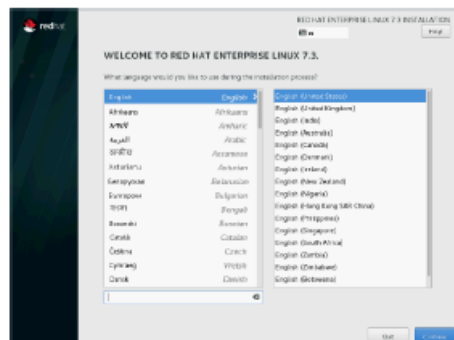
- 「ワнтаイムブートメニュー」画面が表示されます。



- 「ワнтаイムブートメニュー」画面が表示されたら、Red Hat Enterprise Linux 7.3 Serverメディアが入っているデバイスを選択します。
- 「Install Red Hat Enterprise Linux 7.3」を選択します。

(2) セットアップの実行

- 言語とキーボードの選択画面が表示されます。[日本語 Japanese]を選択し、[続行(C)]をクリックします。



【訂正後】

2.1.5 セットアップの手順

(1) セットアップの開始

セットアップの前にファームウェアの更新が必要な場合、更新を行ないます。

各装置におけるOSバージョンに対応したStarter Pack情報およびファームウェアの更新情報は、各製品の製品マニュアル(ユーザーズガイド)を参照します。

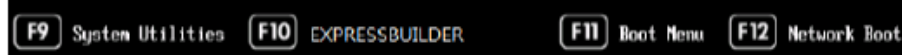
<http://jpn.nec.com/>

「サポート・ダウンロード」－「カタログ・マニュアル」－

「PC サーバ (Express5800 シリーズ)」－「100シリーズ」項目から対象のモデルを選択。

ファームウェアの更新後、以下の手順にてセットアップを開始します。

1. ディスプレイ、本機の順に電源をONにします。
2. 本機を起動時、光ドライブに、Red Hat Enterprise Linux 7.3のインストールDVDをセットします。POST 画面の下に次のメッセージが表示されたら[F11]キーを押してワнтаイムブートメニューを起動します。



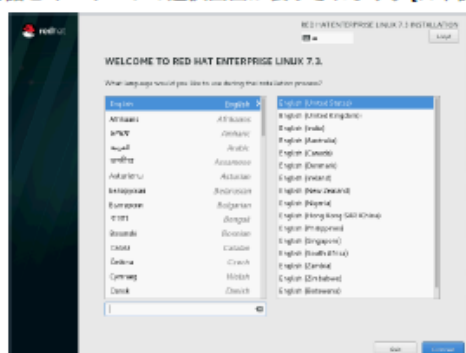
3. 「ワнтаイムブートメニュー」画面が表示されます。





4. 「ワнтаイムブートメニュー」画面が表示されたら、Red Hat Enterprise Linux 7.3 Serverメディアが入っているデバイスを選択します。
5. 「Install Red Hat Enterprise Linux 7.3」を選択します。

(2) セットアップの実行

1. 言語とキーボードの選択画面が表示されます。[日本語 Japanese]を選択し、[続行(C)]をクリックします。



対象モデル	R120h-1M,R120h-2M,R120h-1E,R120h-2E, T120h
対象 OS	Red Hat Enterprise Linux 6.9
対象文書名	インストールガイド(Linux 編)

No.	ページ	区分	変更箇所
15	-	修正	iLo ドライバーの確認
<p>【訂正前】</p> <p>3. 光ディスクドライブにStarter Pack をセットします。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-left: 10px;"> Red Hat Enterprise Linux 6.9 を使用する場合、S8.10-003.01 以降のバージョンの StarterPack を使用してください。 </div> </div>			
<p>【訂正後】</p> <p>3. 光ディスクドライブに Starter Pack をセットします。</p> <div style="border: 2px solid red; border-radius: 20px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>各装置におけるOSバージョンに対応したStarter Pack情報は、各製品の製品マニュアル(ユーザーズガイド)を参照します。</p> <p>http://jpn.nec.com/</p> <p>「サポート・ダウンロード」－「カタログ・マニュアル」－ 「PC サーバ (Express5800 シリーズ)」－「100シリーズ」項目から対象のモデルを選択。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-left: 10px;"> Starter Packダウンロードサイトに、Linux上でのStarter Pack適用情報、適用時の補足情報が記載されている場合、Starter Packダウンロードサイトの記載に従ってStarter Packの適用を行います。 </div> </div> </div>			

対象モデル	R120h-1M,R120h-2M,R120h-1E,R120h-2E, T120h
対象 OS	Red Hat Enterprise Linux 7.3 Red Hat Enterprise Linux 6.9
対象文書名	インストールガイド(Linux 編)

No.	ページ	区分	変更箇所
16	-	修正	Starter Pack の適用

【訂正前】

Red Hat Enterprise Linux 6.9 (R120h-1M,R120h-2M,R120h-1E,R120h-2E, T120h)の記載

● Starter Pack の適用

「iLO ドライバーの確認」につづき、Starter Pack を適用してください。



Red Hat Enterprise Linux 6.9 を使用する場合、S8.10-003.01 以降のバージョンの StarterPack を使用してください。

Starter Pack に関する詳細情報は、以下を確認します。

NEC コーポレートサイト： <http://jpn.nec.com/>

[サポート・ダウンロード] – [ドライバ・ソフトウェア] – [PC サーバ/ブレードサーバ (Express5800 シリーズ)]

Red Hat Enterprise Linux 7.3 (R120h-1M,R120h-2M,R120h-1E,R120h-2E, T120h)の記載

● Starter Pack の適用

「iLO ドライバーの確認」につづき、Starter Pack を適用してください。

Starter Pack および SPP に関する詳細情報は、以下を確認します。

NEC コーポレートサイト： <http://jpn.nec.com/>

[サポート・ダウンロード] – [ドライバ・ソフトウェア] – [PC サーバ/ブレードサーバ (Express5800 シリーズ)]

【訂正後】

Red Hat Enterprise Linux 6.9 (R120h-1M,R120h-2M,R120h-1E,R120h-2E, T120h)

- **Starter Pack の適用**

「iLO ドライバーの確認」につづき、Starter Pack を適用してください。

各装置におけるOSバージョンに対応したStarter Pack情報は、各製品の製品マニュアル(ユーザーズガイド)を参照します。

<http://jpn.nec.com/>

「サポート・ダウンロード」－「カタログ・マニュアル」－
「PC サーバ (Express5800 シリーズ)」－「100シリーズ」項目から対象のモデルを選択。



チェック

Starter Packダウンロードサイトに、Linux上でのStarter Pack適用情報、適用時の補足情報が記載されている場合、Starter Packダウンロードサイトの記載に従ってStarter Packの適用を行います。

Red Hat Enterprise Linux 7.3 (R120h-1M,R120h-2M,R120h-1E,R120h-2E, T120h)

- **Starter Pack の適用**

「iLO ドライバーの確認」につづき、Starter Pack を適用してください。

各装置におけるOSバージョンに対応したStarter Pack情報は、各製品の製品マニュアル(ユーザーズガイド)を参照します。

<http://jpn.nec.com/>

「サポート・ダウンロード」－「カタログ・マニュアル」－
「PC サーバ (Express5800 シリーズ)」－「100シリーズ」項目から対象のモデルを選択。

対象モデル	R120h-1M,R120h-2M,R120h-1E,R120h-2E, T120h
対象 OS	Red Hat Enterprise Linux 7.3 Red Hat Enterprise Linux 6.9
対象文書名	インストールガイド(Linux 編)

No.	ページ	区分	変更箇所
17	—	修正	Starter Pack の適用

【訂正前】

[以下の手順は、Red Hat Enterprise Linux 7.3 / Red Hat Enterprise Linux 6.9 共通です。]

● Starter Pack の適用

：

1. 光ディスクドライブにStarter Pack をセットします。
2. rootユーザーでログインします。
コンソール端末で操作をしてください。
3. マウントポイントを作成します。※「iLOドライバの確認」で、作成済みの場合は、作成不要です。

```
# mkdir /media/cdrom
```

4. Starter Packをマウントします。

```
# mount -r -t iso9660 /dev/sr0 /media/cdrom
```

5. Smartupdateのあるディレクトリへ移動します。

```
# cd /media/cdrom/packages/
```

6. 以下のコマンドを実行します。

```
# ./smartupdate abort
# ./smartupdate add --baselines ./
# ./smartupdate add --nodes localhost
# ./smartupdate setattributes --nodes localhost rewrite=false
downgrade=false firmware=false software=true
# ./smartupdate inventory --nodes localhost --baselines ./
# ./smartupdate deploy
# ./smartupdate abort
# ./smartupdate shutdownengine
```

7. OSを再起動します。

```
# reboot
```

8. Starter Packをマウントします。

```
# mount -r -t iso9660 /dev/sr0 /media/cdrom
```

9. Smartupdateのあるディレクトリへ移動します。

```
# cd /media/cdrom/packages/
```

10. 以下のコマンドを実行します。

```
# ./smartupdate abort
# ./smartupdate add --baselines ./
# ./smartupdate add --nodes localhost
# ./smartupdate setattributes --nodes localhost rewrite=false
downgrade=false firmware=true software=false
# ./smartupdate inventory --nodes localhost --baselines ./
# ./smartupdate deploy
# ./smartupdate abort
# ./smartupdate shutdownengine
```

11. OSを再起動します。

```
# reboot
```

【訂正後】

[以下の手順は、Red Hat Enterprise Linux 7.3 / Red Hat Enterprise Linux 6.9 共通です。]

● Starter Pack の適用

:
:
:

1. 光ディスクドライブにStarter Pack をセットします。

2. rootユーザーでログインします。
コンソール端末で操作をしてください。

3. マウントポイントを作成します。※「iLOドライバの確認」で、作成済みの場合は、作成不要です。

```
# mkdir /media/cdrom
```

4. Starter Packをマウントします。

```
# mount -r -t iso9660 /dev/sr0 /media/cdrom
```

5. Smartupdateのあるディレクトリへ移動します。

```
# cd /media/cdrom/packages/
```

6. 以下のコマンドを実行します。

```
# ./smartupdate abort
# ./smartupdate add --baselines ./
# ./smartupdate add --nodes localhost
# ./smartupdate setattributes --nodes localhost rewrite=false
downgrade=false firmware=false software=true
# ./smartupdate inventory --nodes localhost --baselines ./
# ./smartupdate deploy
# ./smartupdate abort
# ./smartupdate shutdownengine
```

7. OSを再起動します。

```
# reboot
```

8. ~~Starter Packをマウントします。~~

```
# mount -r -t iso9660 /dev/sr0 /media/cdrom
```

9. ~~Smartupdateのあるディレクトリへ移動します。~~

```
# cd /media/cdrom/packages/
```

10. ~~以下のコマンドを実行します。~~

```
# ./smartupdate abort
# ./smartupdate add --baselines ./
# ./smartupdate add --nodes localhost
# ./smartupdate setattributes --nodes localhost rewrite=false
downgrade=false firmware=true software=false
# ./smartupdate inventory --nodes localhost --baselines ./
# ./smartupdate deploy
# ./smartupdate abort
# ./smartupdate shutdownengine
```

11. ~~OSを再起動します。~~

```
# reboot
```

対象モデル	R120h-1M,R120h-2M,R120h-1E,R120h-2E, T120h
対象 OS	Red Hat Enterprise Linux 7.3 Red Hat Enterprise Linux 6.9
対象文書名	インストールガイド(Linux 編)

No.	ページ	区分	変更箇所
18	-	修正	最新ドライバーの適用

【訂正前】

Red Hat Enterprise Linux 6.9 (R120h-1M,R120h-2M,R120h-1E,R120h-2E, T120h)の記載

(5) バンドルソフトウェアのインストール(2章参照)

本書の「2章」を参照し、バンドルソフトウェアのインストールおよび設定を行います。

(6) 最新ドライバーの適用

本書の「本章(2.1.2 (3) 最新ドライバー情報の確認)」で、最新ドライバーが提供されている場合は、手順に従い適用します。

Starter Pack および SPP による、ドライバー適用に関する詳細情報は、以下を確認します。

NEC コーポレートサイト : <http://jpn.nec.com/>

[サポート・ダウンロード] - [ドライバ・ソフトウェア] - [PC サーバ/ブレードサーバ (Express5800 シリーズ)]

Red Hat Enterprise Linux 7.3 (R120h-1E,R120h-2E, T120h)の記載

(5) バンドルソフトウェアのインストール(2章参照)

本書の「2章」を参照し、バンドルソフトウェアのインストールおよび設定を行います。

(6) 最新ドライバーの適用

本書の「本章(2.1.2 (3) 最新ドライバー情報の確認)」で、最新ドライバーが提供されている場合は、手順に従い適用します。

Starter Pack および SPP による、ドライバー適用に関する詳細情報は、以下を確認します。

NEC コーポレートサイト : <http://jpn.nec.com/>

[サポート・ダウンロード] - [ドライバ・ソフトウェア] - [PC サーバ/ブレードサーバ (Express5800 シリーズ)]

Red Hat Enterprise Linux 7.3 (R120h-1M,R120h-2M)の記載

(5) バンドルソフトウェアのインストール(2章参照)

本書の「2章」を参照し、バンドルソフトウェアのインストールおよび設定を行います。

(6) 最新ドライバーの適用

本書の「本章(2.1.2 (3) 最新ドライバー情報の確認)」で、最新ドライバーが提供されている場合は、手順に従い適用します。

Starter Pack および SPP による、ドライバー適用に関する詳細情報は、以下を確認します。

NEC コーポレートサイト : <http://jpn.nec.com/>

[サポート・ダウンロード] - [ドライバ・ソフトウェア] - [PC サーバ/ブレードサーバ (Express5800 シリーズ)]

【訂正後】

Red Hat Enterprise Linux 7.3 (R120h-1M,R120h-2M,R120h-1E,R120h-2E, T120h)

Red Hat Enterprise Linux 6.9 (R120h-1M,R120h-2M,R120h-1E,R120h-2E, T120h)

共通

(5) バンドルソフトウェアのインストール(2章参照)

本書の「2章」を参照し、バンドルソフトウェアのインストールおよび設定を行います。

(6) 最新ドライバーの適用

本書の「本章(2.1.2 (3) 最新ドライバー情報の確認)」で、最新ドライバーが提供されている場合は、手順に従い適用します。

各装置におけるOSバージョンに対応したStarter Packによる、ドライバー適用に関する情報は、各製品の製品マニュアル(ユーザーズガイド)を参照します。

<http://jpn.nec.com/>

「サポート・ダウンロード」－「カタログ・マニュアル」－

「PC サーバ (Express5800 シリーズ)」－「100シリーズ」項目から対象のモデルを選択。

対象モデル	R120h-1M,R120h-2M,R120h-1E,R120h-2E, T120h
対象 OS	Red Hat Enterprise Linux 7.3 Red Hat Enterprise Linux 6.9
対象文書名	インストールガイド(Linux 編)

No.	ページ	区分	変更箇所
19	-	修正	本機用バンドルソフトウェア

【訂正前】

Red Hat Enterprise Linux 6.9 (R120h-1M,R120h-2M,R120h-1E,R120h-2E, T120h)の記載

1. 本機用バンドルソフトウェア

Linux OS をインストールした後、Starter Pack または Web サイトからダウンロードしてバンドルソフトウェアを個別にインストールします。詳細は、各バンドルソフトウェアの説明書を参照してください。

Starter Pack、ドライバ適用に関する詳細は、以下のサイトを参照してください。

NEC コーポレートサイト： <http://jpn.nec.com/>

[サポート・ダウンロード]－[ドライバ・ソフトウェア]－[PC サーバー/ブレードサーバー (Express5800 シリーズ)]



Red Hat Enterprise Linux 6.9 を使用する場合、S8.10-xxx.xx 以降のバージョンの StarterPack を使用してください。

Red Hat Enterprise Linux 7.3 (R120h-1M,R120h-2M,R120h-1E,R120h-2E, T120h)の記載

1. 本機用バンドルソフトウェア

Linux OS をインストールした後、Starter Pack または Web サイトからダウンロードしてバンドルソフトウェアを個別にインストールします。詳細は、各バンドルソフトウェアの説明書を参照してください。

Starter Pack、ドライバ適用に関する詳細は、以下のサイトを参照してください。

NEC コーポレートサイト： <http://jpn.nec.com/>

[サポート・ダウンロード]－[ドライバ・ソフトウェア]－[PC サーバー/ブレードサーバ (Express5800 シリーズ)]

【訂正後】

Red Hat Enterprise Linux 6.9 (R120h-1M,R120h-2M,R120h-1E,R120h-2E, T120h)

Red Hat Enterprise Linux 7.3 (R120h-1M,R120h-2M,R120h-1E,R120h-2E, T120h)

共通

1. 本機用バンドルソフトウェア

Linux OS をインストールした後、Starter Pack または Web サイトからダウンロードしてバンドルソフトウェアを個別にインストールします。詳細は、各バンドルソフトウェアの説明書を参照してください。

各装置における OS バージョンに対応した Starter Pack 情報は、
各製品の製品マニュアル(ユーザーズガイド)を参照します。

<http://jpn.nec.com/>

「サポート・ダウンロード」－「カタログ・マニュアル」－
「PC サーバ (Express5800 シリーズ)」－「100 シリーズ」項目から対象のモデルを選択。

更新履歴

- 2018 年 09 月 11 日 セットアップの手順 (1)更新。(No.13)、(No.14)
Starter Pack 参照先変更。(No.15)、(No.16)、(No.18)
Starter Pack 適用手順変更。(No.17)
本機用バンドルソフトウェア。(No.19)
- 2018 年 04 月 26 日 インストール可能な Linux OS 更新。(No.10)
Linux のセットアップ方法の概要 更新。(No.11)
セットアップの手順 (1)更新。(No.12)
- 2018 年 03 月 09 日 「EXPRESSBUILDER version E8.10-003.01 ファームウェア 3.10.222
以降」の更新情報。(No.2 - No.6)
Starter Pack 適用手順変更。(No.7)
システムユーティリティ設定 説明更新。(No.8)
付 録 説明修正。(No.9)
- 2018 年 02 月 09 日 新規作成 (No.1)